



調査部 情報管理室

平成30年採用（一般職行政）

1. 税関を志望したきっかけ

大学で外国語を専攻していたこともあり、海外への関心が強く、将来は外国と関わる仕事につきたいと考えていました。

民間企業でも空港や貿易会社など、外国と関わる職業は多いですが、税関は、日本の水際で薬物・銃器等の社会悪物品の流入を防ぎ、安心・安全な社会を守るという点に魅力を感じ志望しました。また、私は様々なことに興味を持つ性格であるため、税関であれば、監視取締・通関・犯則調査など幅広い業務に携わることができ、自身も成長することができると思ったことも志望理由の一つです。

2. 現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力など

現在、私は調査部情報管理室に所属し、密輸や脱税に関する情報の収集・分析・管理・発信を行っています。具体的には、税関内部(取締部門や通関部門などの現場)、警察等の関係機関や密輸ダイヤルなどから入手した情報について、多角的な調査を行い、関係部門・職員に共有することで、密輸や脱税の摘発の支援を行っています。情報の入手先が多岐にわたるため、税関内部の業務だけでなく、関係機関等の業務を知ることができ、日々勉強になることが多くあります。



また、私は情報管理室の業務のほか、「関税技術協力」という、開発途上国の税関等を対象とする技術支援の業務にも携わっており、日本税関だけではなく、海外の税関についても学ぶ機会があります。さらに、海外の税関職員に対して日本税関について説明する機会を頂き、海外の税関職員から「日本税関の考え方がよくわかった」と言ってもらえた時はやりがいを感じました。

職場については、和やかで、上司の方々は新人である私の意見にも耳を傾けて下さり、風通しが良い雰囲気だと思います。

またプライベートでは有給休暇を取得し、趣味である海外旅行に行くなど、充実した生活を送ることができています。



3. 受験生へのメッセージ

就職活動は今後の人生を決める大事な機会なので、大変ですが、興味がある官庁や企業の説明会にはできる限り足を運んでみるのが重要だと思います。

税関はデスクワークだけではなく、監視取締や調査等で外に出る機会もあり、様々な経験を積みながら働けることが魅力の一つではないかと思います。また、研修制度等も充実しており、興味があることに積極的に取り組める職場です。ぜひ説明会等に参加し、税関の魅力を知っていただければ嬉しいです。

